

# ひとし一品運動

## ご家庭の食料品を「おすそ分け」ください。

### 「フードバンク」をご存知ですか？

それは「食料銀行」のことです。まだ食べられる安全な食料を地域の皆さまから分けていただき、食べ物を口にできずに困っている人々に提供する活動です。(\*^\_^\*)

人も食べ物も救うことができる、新しい「食のリサイクル」、それが「フードバンク」です。

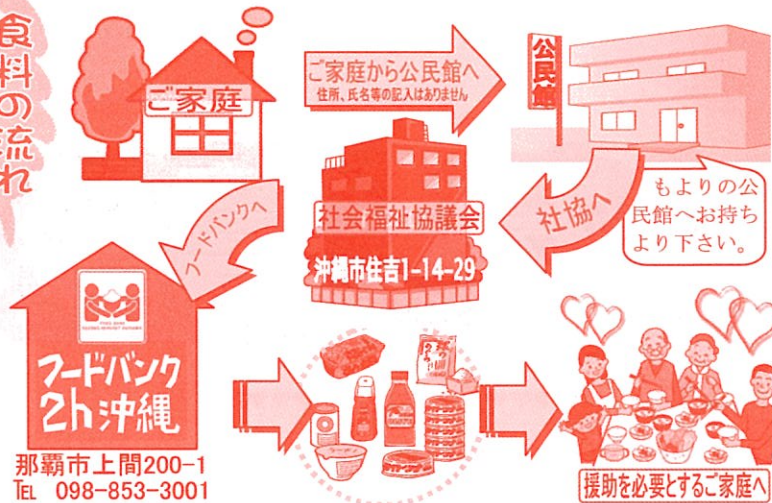
沖縄市社会福祉協議会では今回も「フードバンクセカンドハーベスト沖縄」の活動に協力します。

来る年末年始に寄せられる「お歳暮」・「お年賀」などから、おすそ分けできるものがございましたら、もよりの公民館などへお届けいただきますよう、心よりお願い申し上げます



～もったいない～ から ～ありがとう～

食料の流れ



受付期間  
2014年1月 **6日～20日**

★お問い合わせ★

沖縄市社会福祉協議会 TEL937-3385

もしくは、もよりの公民館までどうぞ

※土・日・祝日は休館日です。また、寄付は午前10時～12時、午後1時～4時までにご利用します。  
※食料を寄付する方および食料の提供をうける方の個人情報を求めたり、明らかにすることはありません。あらかじめご了承ください。



フードバンクで集まった606kgの食料を前に支援を感謝する関係者＝沖縄市住吉、市社会福祉協議会

### 自治会協力 フードバンクに606kg

「沖縄」品質に問題のない食料を集め、食卓に困る人に提供するフードバンク運動を進めていた沖縄市社会福祉協議会（高橋善吉会長）は28日、運動期間の2週間で集まった計606kgの食料をNPO法人フードバンク、奥平智子代表へ寄贈した。フードバンクは、包装の傷などで廃棄される食料を企業から寄贈してもらったが主だが、同市社協では市内37自治会を通して「おすそ分け」を各家庭に呼びかける「地域の善意」で食料を集めた。奥平代表は「地域主体の取り組みは聞いたことがない。各地でこうした支援が広まってくれればありがたい」と感謝した。（新崎哲史）

市社協は、市福祉まつりなどでフードバンク活動を実施していたが、子供以上は家庭からの食料提供が多かったため、全自治会の協力を得て、今年11～25日に米や缶詰、乾麺などの提供を呼びかけた。その結果、お歳暮の袋々や袋に入れたお米などが公民館に届けられ、同NPOへの1回の寄付としては最重量の606kgに達した。提供者からは「お年賀がすぎた人を支援する」という目的がはっきりして参加しやすくなったのが良かったという。支援が集まる一方、同社協には「食事する金もない」との相談が相次ぎ、食料はすでに10世帯に届けた。同市社協の上原達次相談支援担当は「不況で職を失い実を戻ったが実家も困窮し、家族で食事ができないケースもあった」と語り、「社協でフードバンク活動を抱え、そうした家庭の把握ができる。日ごとの寄贈に加え、お中元やお歳暮の時期には一人一品運動を呼びかけたい」と話した。また、同社協の嘉陽会長も食料を通じ、人が人を支える新しい福祉の形。提供者には「日ごとの地域活動に参加しない若い子育て世代も多々」公民館が運動の中心として地域公民館のコーディネーターの垣根がなくなるのではと期待を込めた。

## 地域力で「食の福祉」

食料品は、賞味期限が1カ月以上残っているもので、未開封かつ常温保存が可能なものです。

- ①お米 ←一番人気!
- ②缶詰 なんでもOK
- ③乾麺 これも重宝
- ④調味料類
- ⑤インスタント食品など

※お米だけは、透明な袋に入れて、小分けにしてもOKです。